

胸部X線撮影における、吸気不足になりやすい体形の調査に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属新宿クリニックでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年8月29日～2025年3月31日

〔研究課題〕

胸部X線撮影における、吸気不足になりやすい体組成データの調査

〔研究目的〕

胸部X線撮影において吸気不足は読影の支障になりえる為、読影医から吸気不足での撮影に関して厳しく指摘があり、厳密な読影のために再撮影が必要になる場合があります。しかし、再撮影は診療放射線技師による撮影前の被検者への誘導で防ぐことが可能な被ばくです。そのため、再撮影を減らすことでの医療被ばく低減を目的に、吸気不足で再撮影をした受診者様の体組成データから吸気不足になりやすい体型を調査検討します

〔研究意義〕

胸部X線撮影時に吸気不足になりやすい体形の人を、あらかじめデータから客観的に予測することができれば、撮影前の誘導の仕方を工夫することで再撮影を防ぐことができ、医療被曝を減らすことが出来ます

〔対象・研究方法〕

帝京大学医学部附属新宿クリニックで2022年4月1日から2023年3月31日までの間に健康診断を受診し、健診時に体組成の計測をしていて、なおかつ胸部X線撮影において吸気不足で再撮影をした人を対象とします

健診時にペースメーカー装着などを理由に体組成の計測をしていない人を除きます

身長体重、体脂肪率など健診時に計測した体組成のデータを用い、再撮影をした受診者の体形の傾向を調査して、吸気不足になりやすい体形を検討することにより、再撮影による医療被曝の軽減に役立てようと考えています

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属新宿クリニック

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません

研究に利用した個人情報は、研究終了後10年間研究責任者の管理下で、新宿クリニック内に保管します

対象となる受診者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：氏名 東條 利恵

研究分担者：氏名 足立 美咲 中野 勉 水見 洋子 光武 瑛理

所属：帝京大学医学部附属新宿クリニック 放射線部

住所：東京都新宿区新宿4-16-1 JRミライナタワー7階 TEL：03-6274-8871（代表）